



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和元年11月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

読書は“心の貯金”です。

校長 林 秀次

私が小さい頃、昔話といえど本でした。「こぶとりじいさん」「さるかに合戦」等、多くの昔話や童話を読みました。また、中学生の頃は時間を忘れて「三国志」等の小説を読みふけりました。知らず知らずのうちに登場人物の表情や動き、感情、周囲の景色等のイメージが広がり、わくわくしながら読み進めていました。

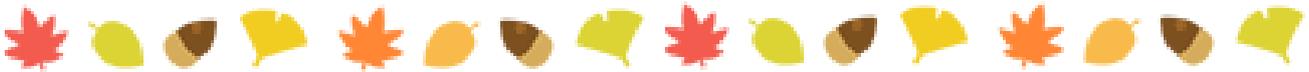
昭和50年、私が中学生の時に、テレビで「まんが日本昔ばなし」という番組が始まりました。「ぼうや、よい子だねんねしな、いまもむかしも・・・」という主題歌が始まります。「ああ、知っている。」という方も多いのではないでしょうか。

中学生の私が初めてこの番組を見た時「何か違う」と感じました。自分の中で大切に思い描いていたイメージと違うのです。横山光輝の漫画「三国志」を見た時も同じように感じました。確かに映像や画像には、状況や登場人物の感情等を多くの人に同じように伝えることができるという良さがあります。しかし、画一化したイメージが与えられるという感覚は拭えません。自分のイメージを自由に膨らませ味わうということが難しいのです。

文字はどうでしょう。読書によって作られるイメージは自由で、積み重ねてきた経験や学びによっていろいろな方向に膨らみ、豊かに変化し、創造の翼を広げてくれます。

AI（人工知能）の発達によって大きく変化していく社会において、私たち人間に大切なのは、全く関係がないように見える事柄同士を結び付け、新しいものを生み出す力であると言われています。この力を身に付けるために、自分のイメージを自由に膨らませていくことができる読書は大きな役割を果たしてくれると思います。

本校では、子供たちが“読書貯金ファイル”を活用して自分の読書を記録し、励みにしています。この読書が子供たちにとって、文字どおり“心の貯金”となってくれることを願っています。家族みんなで読書をする 것도 家庭での素敵な時間の過ごし方ですね。



アルファベットとなかよし

3年担任 竹原 昇

3年生では、初めて外国語活動を行います。担任とALTのショー先生との二人で指導しています。

子供たちは英語を用いたゲームや、チャンツ（リズムに合わせて英語を話すこと）の活動が大好きで、“One more time!”と言って、何度も繰り返し練習し、意欲的に取り組んでいます。

先日、“What's this?” “It's ~.”の表現を用いてアルファベットの大きな文字を当てる活動をしました。指でアルファベットを空書きしたり、ヒントを交えたりして、クイズを出した子供も答えた子供もみんな笑顔で楽しんでいました。見ている私も楽しくなりました。これからも、子供たちが「楽しい!」「もっとしたい!」と思えるような学習活動を工夫していきます。

